

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS

9

1975 SEP. NO.147

 ヤマハセフテキャンペーン実施中!



商品=ヤマハミニGT50/ヤマハヘルメットFS-100/012412シャツ

# 家族で遊べるスポーツランド菅生

——— お店を“菅生”の窓口に ———  
**スポーツランド菅生“プレイガイド店”にご参加ください。**



健全なバイクライフの拡がりとしてスポーツレジャーの発展を願ってヤマハが建設した「スポーツランド菅生」をお店のみなさまにもさらに有効にご活用いただくためのシステムそれが「スポーツランド菅生プレイガイド店」です。お店とヤマハ、菅生が一体となってさらに有意義な活動を展開するために、どうぞお店も「スポーツランド菅生プレイガイド店」にご参加ください。

## 新しいお客さまを呼ぶ“プレイガイド店”

「スポーツランド菅生プレイガイド店」は、お客さまに対する菅生の窓口。お店にとっては、菅生の充実した施設や多彩なイベントを商品のひとつとしてご活用いただき、新しいお客さまの開拓にお役立ていただけます。

## “菅生”を商品ラインナップのひとつに

「スポーツランド菅生プレイガイド店」としてお店には、前売入場券、のりもの回数券、パックチケットの販売をお願いします。

一方、お店にはゲートパスが交付されるほか、各種教室、競技会、ツーリングなどお店のSL活動などにスポーツランド菅生を、より有効にご活用いただけます。

〈仙台、東京地区は実施中。くわしくはセールスマンにおたずねください〉

## 9月はピクニックスゴー“青空フェスティバル”

1日～7日	食欲コーナー (菅生名物きじ料理、茸バーベキュー)	15日～21日	月と光の祭典 (世界のコーヒーまつり)
7日	ちびっ子もちつき大会	21日	MCFJA日本選手権ロードレース第4戦・北日本大会
8日～14日	若返りウィーク (冒険ジャルダンまつり)	22日～30日	菅生彼岸コーナー (芸術の森)
14日	SCCカートレース第6戦	24日	ミニバイクフェスティバル
15日	若者にケローカイ 全日本選手権カートレース第7戦	28日	SCCモトクロス第3戦

大きな自然のびのび菅生

スポーツごころの大きなふれあい

- 「菅生」連絡先  
宮城県柴田郡村田町大字菅生字路石6-1  
〒989-14 ☎022483-3111
- 「菅生」仙台営業所  
宮城県仙台市日の出町3丁目8番36号  
ヤマハ発動機株式会社・仙台支店内  
〒983 ☎0222(95)1031・(94)6121
- 「菅生」東京営業所  
東京都中央区銀座8丁目9-13銀座オリエン  
ビル ヤマハ発動機株式会社・東京支店内  
〒104 ☎03(572)2021
- ヤマハオートバイ、アジュー自転車取り扱い  
店・菅生プレイガイド店でも受け付けます。



**菅生**  
 スポーツランド  
**SUGOI**

●お客さまにとって魅力ある販売店とは



用品がそろっていけば  
用品だけを買いきてくれたお客さまも  
次にはバイクを買ってくれる

あの店にいけば  
バイクのことならすべて用がたりる

そういうことでお客さまとの信頼感を結び  
年間一千台ラインの販売をめざしたい

こう語るのは埼玉県上福岡市のフレンド店  
ミナミ商会・南次郎社長です。五年前にスタ  
ートしたミナミ商会さんは、小型、軽量、低  
廉なバイクの特徴をつよく一般にアピールす  
ると共に、若者とバイクの健全な結びつきを  
つよめて、いまでは年間一千台の販売を目標  
とする大型店へと急成長をとげました。

それだけに、南次郎社長の商哲学にはいっ  
ぱん筋のおつたものがありますが、ここで  
はこうした大型のご商売の中で、用品、部品  
修理、さらには自動車保険や、SL催事、安  
全運転指導など、二輪車販売に欠くことので  
きない関連業務を拡販にどう結びつけてきた  
かにスポットをあててみました。

前号8月号の誌上で、「みつめ直してみま  
せんか、ライダーの安全を保つ身のまわり品  
いろいろ」と題し、ライダーの安全なバイク  
ライフにとって欠くことのできない用品類に  
ついて五人のお客さまからの意見を紹介しま  
したが、いわばこれはフレンド店さん側から  
みた一つの解答といえなくもありません。

あなたのお店では、用品、部品の販売や点  
検整備など、二輪車販売に関連する業務をお  
店の業績アップにどうお役立てでしょうか。



およそ三〇〇㎡の店内には、ありとあらゆる商品が展示されている。週末の午後はお客さまが次々と訪れる

### なんでも、いつでも間に合う

#### お客さまにとって魅力ある店とは

ミナミ商会さんのお店は、東京・池袋から東武東上線でおよそ30分。埼玉県の新興都市上福岡市築地三―二―六にあります。

駅から歩いて20分、メインストリートからも外れており、交通の便もよくなかった。でも、その立地条件のわるさ、具体的にいつて交通の便のわるさを逆にどう商売に生かすか、

それを商売繁昌のひとつのポイントとしてツールにとらえ、スタートした人です。「正直いつて自信はなかった。しかし、商売をやる以上、絶対に成功させなければならぬ。それにはやはり、人の真似をしてはいけない。座して客を待てるどころでなければ、こちらからお客さんの門を叩くか、あるいは例え交通の足は不便であっても、その不便をおしてもお客さんが店の前にならんでもらえる魅力ある店づくりをしなければならぬ。とにかく

く、お客さまにとってバイクとは何なのか、販売店はどうあるべきなのか、常に勉強の日なんですよ」  
南社長は、落ち着いた口調で商売のむずかしさを語るが、話の中心はお客さまにとって販売店とはなにか、ということにつきまします。  
「お客さまにとって魅力ある販売店というのは、いろいろと注文があるでしょうが、やはりなんでも、いつでもあるということ。そして買いやすいということでしょうね。専門店



各種のヘルメットが収納された陳列棚。もちろんヤマハヘルメットも多い



明日速乗り……というお客さまの緊急な整備要請にも応えられる部品庫



秋から冬にそなえてライディングウェアや手袋類も豊富に用意された



ワックスをはじめ、キーホルダーなど小物アクセサリ類も意外と売れ足がはやい。商談の話題にも役立てたりする



ファッショナブルなブーツ。最近は一輸入品ものもよく売れるようになった

## ●お客さまにとって魅力ある販売店とは

は専門店としての、老舗は老舗としての売り出し方をもっているし、固定客もついている。しかし、一般の人にとっては、デパートのようになんでもあり、スーパーマーケットのように買いやすい、こうしたところに魅力を感じるのではないだろうか。

バイクが普及して、いまや日常生活の中に深くとけこんだものとなつていますが、それだけに昔とちがって、二輪車の販売店も一般のお店と変わらない、それだからこそまたむしろかじさがあるといえます」

### お金をかけた展示には それだけ商売もはやる

南社長の語りに熱が入り、ついこちらもひきこまれます。

「なんでもある。いつでも間に合う。買いやすい。こうしたことは誰もがねらっていることで、べつだん目新しいことではない。ですが言うは易し、行方は難しで、いざ実行の段階となるとむずかしい。すべての商品がきょう仕入れて明日売れるというものはありませんからね。経営上どこでバランスさせるか、どこまでを先行投資とするか、たいへんむずかしい問題なんです。

でも、私の経験からいえば、二〇〇万円かけた店内展示と、五〇〇万円かけた店内展示とでは、おのずと商売に大きな差が出てきますね。それも差額三〇〇万円といったものではない。こうしたことで、うちでは50ccのミニバイクから750ccのビックバイクまでいろいろと取揃えて展示していますが、こうしたところがメイトからTXまで、まんべんなく売れる因をつくつているといえます。

部品、用品類についてもまったく同じことで、ヘルメットからブーツ、ライダージュエリーなどはいうにおよばず、ツーリング用のサイドボックスなども本当によく出ます。

それと、これら用品類を揃えておくことの大きなメリットは、最初は用品がたくさんあるということと用品だけを買っていったお客さまが、店全体のいろいろな展示を見ていつて次の代替えのときにはうちのお客さまになつてくれるという可能性が実に大きい、ということがあります」

### 部品も、用品も、修理も すべてバイクをよいものに

話はさらにはずんで、バイクの販売に関連するプラス・アルファの面にスポットがあてられました。

「部品管理も思いきって徹底させ、お客さまからの好評を得ています。まあ、どんな修理でも、ふつう一週間かかるところも部品さえ手元があれば、特急サービスできようのあしたにも出来上りとなりますからね。ということは技術に対する評価も大きく変わつてきます。こうしたことで口コミのPRも行届きま

すし、売上げ面もばかになりません。それと修理については必ず見積り書を出すようにしています。こうしたことが、どんなにつまらぬサービスでも、それ相応の対価を求める根拠となり、お客さまの安全に対する対価への考え方を育てます。

これからはバイクと共に安全を売る時代ですからね。それで私はいちの自動二輪のお客さまには一人残らず任意保険に入ってもらっています。こうした業務も業績アップにつながりますが、実際はそうしたことよりも、われわれ二輪車業界に生きるものにとって社会的な責任の一つでもあると思うのです。

もちろん、私自身も安全運転の指導は十分やっていますが、万一お客さまが交通事故にあったとき、相手先にはむろんのこと本人にとって金銭的な面での不幸がないようにするの、われわれの責任だと思つたのです。そうし

たことで、よくいわれるバイクの社会的デメリットを少しでもなくすことが、二輪車業界の繁栄にもつながる、そう信じています。

うちでは、バイクの専門誌の広告で「安全運転コンクルの会員募集」を行っているのも、お客さまの無事故、無違反を願つたものであつて、実際お店でもお客さまの体格やバイク歴、そしてその人の性格などから大型車は不向きという方にはお断りしています。

とにかく、バイクをもつてよかつた、うちの子はバイクを乗るようになってから立派になつた、というようにならなければ、われわれの商売は成りたたない。だからバイク以外のこともきわめて大切なんです」

### 新しい商品知識の吸収と 誠意にプラス奉仕のこころ

あたえられた紙数もつきてきました。この辺で、今後の抱負について聞いてみました。

「私は、いつも一日一日が勝負だと思つてい

るんです。気持のうえでは明日はどうなるかわからない。きょう一日が勝負だ。だからきょうのお客さまを大事にしよう。そうした一日一日の商売が計画販売を達成する因ともなるのです。それとお店の誠意と奉仕によつて、お客さまがまたお客さまを呼んでくれるというつながり、これを大切にしたい。

それともう一つ利益の計画配分。どんぶり勘定はいけません。宣伝費とか、設備投資とか、長期的にものを考え、採配していくことが大切ですね。

私の信念としては、いわゆる小売り店としての販売台数の限界、よく五〇〇台とか一〇〇〇台とかいわれていますが、そういう常識を破つてみたい気がつよくあります。そうしたことをふまえ、部品/用品その他の商品知識を学び、また健全な経営のあり方などを勉強したいと考えています」



横山 和郎氏

横山商会・大野郡丹生川村町方



和田 隆氏

南和田商会・高山市本町4の62



山下 良一氏

南叶商会・高山市岡本町816



平田 昭二氏

朝日モータース・大野郡朝日村万石



藤田 良高氏

藤田商会・益田郡小坂町

## 13店の精鋭が競う 飛驒ヤマハフレンズ店会



岸 克彦氏

南下呂サイクル商会・益田郡下呂町森316



清水 康氏

南清水商会・益田郡下呂町宮地町436の4



杉山昭之助氏

杉山商会・益田郡金山町金山2081の3



ここに紹介した13名の方々は、日本一のシェアを目ざし、一致団結してヤマハ車の拡販につとめておられる「飛驒ヤマハフレンズ店会」のみなさまです。  
飛驒路をオールヤマハに“をスローガンに全店が一糸乱れぬ絶妙な協力体勢となり、現在50%を超えるシェアをさらにのばし、80%そして100%にまで高めようという意気盛んです。



中洞 行雄氏

中洞自転車店・吉城郡  
神岡町東町



林 和夫氏

林自転車店・吉城郡神  
岡町大門町



上木 幸雄氏

上木自転車店・吉城郡宝  
村本郷



都竹 淳氏

都竹自転車店・吉城郡  
吉川町二之町 8 の 15



樋口 貢氏

樋口自転車店・吉城郡  
国府字広瀬町1069の1

# 合言葉は“シェア日本”。

“ライン下り”で有名な木曾川上流の飛騨川に沿って、岐阜県美濃加茂市から国道41号線を北上していきますと、温泉郷として名高い益田郡下呂町、その静かな町並みで小京都と呼ばれている高山市、そして吉城郡神岡町を通り、やがて富山県へと通じます。

岐阜県を南北に貫くように走るこの国道41号線の沿線には、以上のほか多く町村がありますが、いずれも山間地にあるため、山坂が多く、そのうえバスなどの公共交通機関にもあまり恵まれず、生活の足としてバイクを多用する人はかなりの数になります。

こうした背景のもとに、いま“シェア日本”を旨として活躍しているのが飛騨高山地区の「飛騨ヤマハフレンド店会」の十三名のみなさまというわけです。

もともと「飛騨ヤマハフレンド店会」の活躍はいまに始まったものではありません。その母体はY A I 当時に叶商会さんのもとにスタートした“ヤマハ会”であり、いまも叶商会さんを中心に活動しているのです。

## 月に一度の例会は

### 家族ぐるみでおつき合い

メンバーの中でいちばん南にお店を構える杉山商会（杉山昭之助氏）さんと、北の林自転車店（林和夫氏）さん、中洞自転車店（中洞行雄氏）さんとの間には、およそ一〇〇キロの距離がありますが、こうしたサークルとしては珍しく、家族ぐるみのつきあいが行われています。

「せっかくのサークルだから、親睦の会として動かすよりも、より商売に密接した勉強会の場とすべきだ、という考え方もありますが、

私は、同業者のあつまりだからこそ、逆に家族ぐるみのつきあいが大切だと考えるのです。同じ商売をやりながら、社長同志は顔を合わせても、奥さまや家の人は知らん顔、それじや、いざというとき、例えば大きなキャンペーンをはるにしても盛りあがりかけますし、第一、人間味がなさすぎる（叶商会・山下良一氏）ということになります。

つまり、全店が一丸となってヤマハ車を販売するには、やはりサークル全体の和が必要であるというわけです。

こうしたことから、月に一度の「飛騨ヤマハフレンド店会」の例会は、いろいろと趣向がこらされたものとなっています。幹事役はもちまわりで、全店参加が恒例です。

例えば、樋口自転車店（樋口貢氏）が幹事役のときは、樋口さんが釣りマニアであることから、釣り大会がひらかれたり、朝日モーターズ（平田昭二氏）さんが幹事役をつとめれば、近所の名物バーベキュー店でご馳走大会になるといふ具合です。

いわば、お店の商売についての月に一度の家族そろってのレクリエーション大会というわけですが、こうした楽しさが加わることで、毎月の例会がとどこおりなく行われてきているともいえます。

## お店にあった規模のもと

### 対外的な活動の輪をひろげる

もちろん、こうしたレクリエーション本位ばかりではありません。あるときは、こうしたミーティングの場を利用して、新しいセールス・キャンペーンの説明や「飛騨ヤマハフレンド店会」としての政策的な連携プレーが



自のPRもさかんだ。お祭りのステージを利用コーナーを新設した杉山商会さん（左）

こうした光景は飛騨の町の随所でみうけられ、暮らしの中のバイク「チャビィ」の普及ぶりがかがえる

あみだされたりします。

古くは、「ヤマハ免許教室」を率先して合同で開催し、新しい多くのお客さまをつくりだしたこともあれば、新しいところでは、春のヤマハまつりや、「緑の風のキャンペーン」などの受入れがあげられます。

とにかく一時的なキャンペーンをはじめ基本的な「教室もの」など、いずれもこうしたミーティングにおいて、お互いがそのねらいを納得してかかるだけに、PR効果もまた倍増されるといふことになりました。

お店の規模によって、必ずしも全店が同じようなかたちで取組めるものとは限りませんが、そこは、ふだんからよく話合っている仲のことで、互いにカバーしたり、応援したりで、具体的な政策の展開もきわめてスムーズに行われます。

そして、共通のネライは、表題によるようにヤマハの拡販にあります。

「よい商品をもち、よい商品を広めていけば、販売は発展の一途をたどる。ヤマハを売っていくには、ヤマハを広めるのが第一。ヤマハが売れることで、またヤマハが売れる」（叶商会・山下良一氏）

### 女性層に焦点をあて

### 喜ばれるバイクの普及を図る

「飛騨高山地区におけるヤマハのシェアは確実に50パーセントは越えている」とはこの会のみなさん全員が実感としてとらえていることですが、もつかの急務は免許教室を徹底して売りこみ、女性ユーザーを増加すること。

実際もつとも自分の足が欲しいのは、家事に育児に販売にと、一日をたいへん忙しく働

いている奥さま方で、この点で「飛騨ヤマハフレンド店会」としては、女性層に焦点を絞り、積極的な拡販作戦を展開していくことにしています。

この際、暮しの中のバイクを徹底して売込んでいこうというわけです。

こうしたことから「飛騨高山地区への出荷は、メイト、チャビィなどが以前に増して伸びてきている」（岐阜営業所松本所長写真）



とのことで、まずは確実にヤマハ車のシェアがあがってきているというわけです。

とくにこのところ顕著にみられる傾向としてはチャビィに対する人気が急上昇していることです。これについて「飛騨ヤマハフレンド店会」のみなさんは、「以前は女性の人は殆んどの方がメイトでしたが、最近はバイクにもファッション性を求め、楽しんで乗るというかたちが定着してきたのです。こうした傾向は全域にわたるもので、一種の流行のようになっています。こうなるまでには、やはり「女性に免許を、そしてチャビィを」といった「飛騨ヤマハフレンド店会」の統一した方針に基づいての動きが効を奏しているといえます。全店が一致してのPR活動を行えば、積極的に免許教室を開く。こうした団結の力が大きくものをいっているのですよ」

### 免許、安全、SL活動

### 一致協力しての販売促進

また、こうした意見も多く聞きました。



とくに若者の間では、バイクは従来の「生活の足」から「生活を豊かに楽しくする足」としてTY、MR、DTなどに人気が集まっている



全店合同のPR活動とともに、各店独用した叶商会さん(右)とニューモデ



どこの店頭でも、一番目立つところに掲げられている免許教室開催告知看板、一か月に一度は必ず行うというお店が多い

「景気の良いときは誰れがやっても商売はできるものです。しかし、いったん不況となれば、実力に大きな差が出てきます。いかに真面目に商売していたか、それがお客さまに問われることになるからです。私たちは、常に誠意をもってお客さまに接し、真心こめておつきあいしています」(樋口自転車店・樋口貢氏)。つまり、物を売ると同時に自分売るといった姿勢で、商売を大事にしているというわけです。

「ふだんからお客さまの身になって真面目な商売をしていけば、正価をくずすようなこともなく、お店には自然とよいお客さまがあつ

まり、お客さまがお客さまを紹介してくれることになるんです。こうした誠意が、不況といわれるいまの時期につよい体質となってあらわれているんですが、こうした店づくりの基本についても、われわれの会の存在は大きく影響していますよ」(叶商会・山下良一氏)

このような考え方が全店に浸透しているのがこの会の特徴の一つでもあります。

またこの会のメンバーのみなさんの多くはヤマハ安全運転指導員の資格をもち、免許教室のインストラクターはもとより、乗り方教室や学校へ出向いての安全運転指導にも全力をあげて取り組んでいます。

たとえば、古川町の都竹自転車店(都竹淳氏)と国府町の樋口自転車店さんといったように地理的に近いお店同士が出張試験を合同で要請し、一度に多勢の合格者を出すといった方策もひんばんにとられています。

「女性に免許を、と共に従来の生活の足としてのバイクから「楽しめるバイク」としての発展、そしてプロジェクトやモトバイクなどこちらでは、未開拓商品の普及がわたしたちのこれからのテーマです」(都竹淳氏)の言葉をうらづけるかのように、現在各種のSL活動も精力的にすすめられており、この8月10日には、飛騨高山地区としては初めてのミニバイク運動会が全店の合同主催で行われ新しいSLの芽を育てています。

このように「飛騨ヤマハフレンド店会」のメンバーのみなさんは、ヤマハのネームが入ったそろいのブレザーを新調したのをはじめ、いつもどこかにヤマハのネームなりマークなりをつけて免許教室、安全運転指導、SL活動など、あらゆるチャンスをとらえて、日本一のシェア確保に着手と業績をあげているわけです。

# こんなにバイクってすばらしいの

## チャピイを友達に16才の若奥さま



「若い人はええのオ、べんりなものに乗れて」「アーラ、おばさん、これおばさんにだって簡単に乗れるのヨ」

山陽新幹線「新岩国駅」が開通してますます便利になった山口県岩国市は、米軍の基地の町から錦帯橋を中心とした観光の町へとイメージチェンジをはかり、訪れる観光客もめつきり多くなっている。たしかに市の中心部は、英字と原色の看板がハンランしているが新幹線ぞいに眺められる岩国市附近の竹林は最も美しい沿線風景の一つといえるだろう。

佐藤弘子さんはそんな岩国市郊外の緑ヶ丘住宅地に新婚生活をエンジョイしている芳紀16才の若奥さまである。篠ひろこばりの美人で、スマートに赤いチャピイを乗りこなす弘子さんは、団地の中でもひとときわ目立った存在だが、実用に、レジャーにとバイクを生活の一部として、実にみごとに使いこなしている評判の奥さまでもある。

「バイクは近所のマーケットや、市内への買い物、銀行への用事など、私の生活には欠かせません。親元のところに行く時や、電話の呼び出しなど、特に便利です。はじめは主人のマネをしてみたかっただけなんです。使い慣れるとどこへ行くにもチャピイと一緒にいうことになりました」

16才といえば、ふつうならまだ高校生。学校は結婚直前に中退し、現在は奥さま嫁業専念中。ずいぶん若い奥さまだが、もとはといえばオートバイがとりもつ縁で結ばれたお二人である。

ご主人の幸一さんのお仕事は钣金屋さん。「ワールドキャット岩国」のメンバーとしてモトクロスでならしたひとでもある。

彼のいとこと友達で、しょっちゅう彼の家の前を通っていたのですが、彼はいつもバイクの修理をしていました。私が通るたびに、ジロツとにらむので、なんだか怖い人だという印象がつかったの」

その幸一さんがある時、実家の前をオートバイで走りすぎるのを見た。若い弘子さんにとって、そのカッコよさにはいっぺんに心をうばわれ、それからというものはオートバイのこと、幸一さんのことを積極的に聞き出すようになり、その後はレース場に連れていってもらおうようになった。今までのような恐い印象をもったお兄さんも、いつしかやさしい恋人になっただけというわけだ。弘子さんが16才になって間もなく華燭の典を挙げた。

はじめのうちは幸一さんのオートバイの後に乗せてもらっていたのだが、慣れるにつれてやはり自分で走ってみたくてしょうがない。そこで市内にあるヤマハフレンド店「若木サイクル商会」さんの原付免許教室へ連れていってもらい、ここで二日間みっちり勉強して試験を受けたらみごとパス。

「このあたりはオートバイの環境としてはとても恵まれています。信号や交通渋滞があるわけがなく、安心して走らせられます。遊びたい盛りに結婚したとはいえ、よい友達を見つけたという満足感でいっぱいなんです。もう少しうまくなったら主人と二人で、どこか遠くへツーリングしたいなあと思っています」

元モトクロス・ライダーのご主人は、

「自分で覚えさせた方が身につくと思っただけで特別めんどろはみません。教えるのもよう乗りおりますヨ」と笑う。

夕食後はクラブの本部になっている「若木サイクル」にご主人と連れだつて出かけて、仲間たちとのバイク談義に花を咲かせる。そのひとときが楽しくてしょうがないという若い奥さま。そこに新しいバイクのある明るい生活をつよく感じたものだった。



こんにちは、ヤマハの巡回サービスです  
バイクの調子は、いかがですか!?



▼スポーツ車の多い店頭、実用車のお客さまへは特に訪問サービスを  
つよくPR。右から古川社長、山崎富久、古田哲郎サービスマン

マナーを守って  
さわやかバイク



- ヘルメットをかぶろう
- 定期点検をうけよう



「マナーを守ってさわやかバイク」を合言葉に「ヤマハセフティキャンペーン」が重点実施のスタートを切って一カ月。地域社会に密着した地道な活動が、しだいに根をひろげつつあります。特にお客さまの安全と直結する「ヤマハ安全点検サービス」は反響も大きく、ここにご紹介するフルカワモーターズさん（東京都杉並区）のように、この機会をとらえて念願の訪問サービスを開始したフレンド店さんもあります。

## 第一歩はメイトから

「点検サービス面からお客さまの安全を守るためには、個々のお客さまについてバイクの使用状況を的確に知っていかなくてはなりません。ところが販売台数が増えれば増えるほどこれは逆にむづかしいことです。そこで、こちらから訪問してお客さまの使用実態に合わせたきめ細かいサービスをやろう、という

のが、この訪問サービスを始めた動機なんです」と語る古川浩司社長が、このプランの準備にとりかかったのは昨年の末。

以来、ヤマハ安全運転推進本部、二輪車安全運転推進委員会指導員、加えて全日本レジャーバイク協会々々長という多彩な活動とあわせて、訪問サービス用車両や交換部品、専用工具、DMハガキなど着々と準備を進め、この八月「ヤマハセフティキャンペーン」の重点実施とタイミングをあわせて実動開始となったのです。

当面の対象をメイトを中心にした業務使用に絞ったのは「ユーズー管理をしやすい業務需要は、代替の時期も予測でき、商売の基盤となるからです。またうちの場合スポーツやレジャーバイクにくらべ実用車タイプが弱かったこともありからです。もちろん、将来はミニやレジャーバイク、スポーツ、トレールまで幅を広げていきます」

## 訪問サービスを お店のセールスポイントに

実際お客さまの方でも業務用の場合は、店に修理車をお待ちいただく時間もなく、バイクのトラブルがそのままご商売につながるとあって敏感に対応できるサービス態勢が要求

お客様はここに

訪問日は

○月 日 午前 時 ごろ

○ いつでも良い

※お問い合わせください。

訪問サービスのご案内

皆様方にはいつもお世話になっております。当店では、より安全なバイクの整備サービスを提供するために、安全にお乗りいただくために訪問サービスを実施することになりました。

サービスには、ブレーキ・タイヤ等を修理し、通常のサービスと同様にさせていただきます。その際、お乗りいただきながら行いますので、お乗りいただく前に、今後訪問サービスのご案内をお読みください。お読みいただき、ご不明な点がございましたら、お気軽に電話でお問い合わせください。

訪問サービスの  
フルカワモーターズ

東京都杉並区 4-1-1  
TEL: 03-3991-1837  
東京支店 TEL: 0424-731012



▲整備後は、整備箇所、交換部品などを点検カードに記入し、次回点検の目安に  
▶「どこか不調はありませんか？」何台もお使いのお客さまでは、実際に乗る人から調子を聞いて入念な点検整備を



されているだけにこの訪問サービスは大歓迎です。「オートマチックのV70を五台使っています。うちのようなソバ屋は一日に百キロも走り、使い方も荒い。まして出前の最高潮の昼時にトラブルでも起つたら大変。その点フルカワさんのサービスには全幅の信頼を置いています」（杉並区・辰巳庵さん）

「メイトのタフなことにもおどろいています。フルカワさんのサービスにも感謝します。ソバ屋というのはバイクの耐久性はもちろん、ブレーキのきき方でソバのツユがこぼれるというようなデリケートな面もある。以前はバイクも扱っている自動車ディーラーとのおつきあいだったので、とてもペーシングが合わなくて。修理に何日もかかるなんて

のは、うちの商売ではできないも同じなんです」（練馬区・田中屋そば店さん）

サービスに当る古田哲郎さん（モトクロスEJライダー）の熱心な姿と手ぎわよい作業ぶりも好評です。

お店の技術力をまのあたりにお客さまに印象づけ、訪問先周辺へのフリのお客さまをもとらえ、商圈を大きく拡大する訪問巡回サービス。「新車購入時のお客さまにも、アフターサービスの面で大きなメリットとなります。店のセールスポイントとして発展させていきたい」と大きな意欲をみせる古川社長。ヤマハカラーのボディに音叉マークと「訪問サービス」としてされたサービスカーは、杉並の閑静な住宅街を今日も走りまわっています。

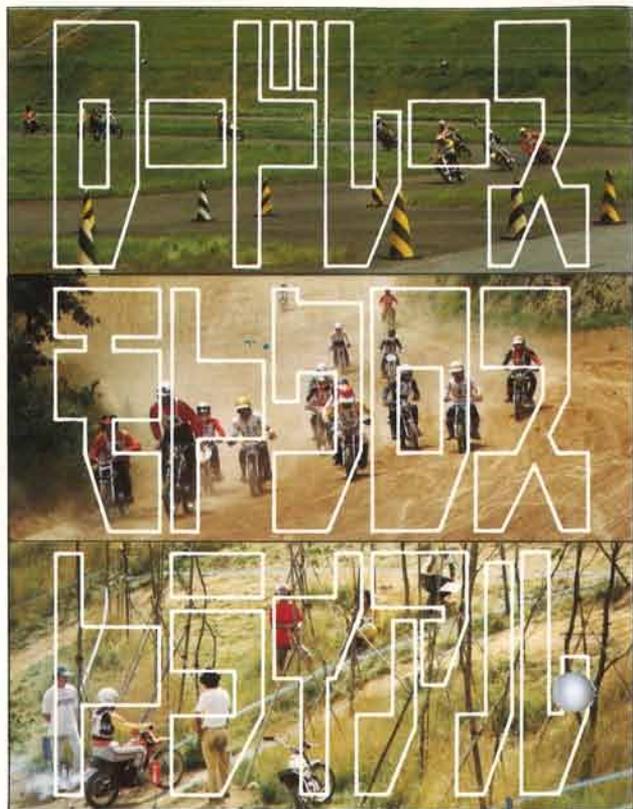


▲点検整備で調子も最高、さらに布ぶきをしてメイトは見ちがえるほどきれいに。お客さまの信頼もグンと変わってくる

◀訪問サービスカーの中には、細かいパーツからコンプレッサまである。特にメイトに関する部品はほとんど備えてある



一人一車、乗りなれたミニバイクで挑む



ROAD RACE MOTOCROSS TRIAL

新しいスポーツレジャーが菅生で誕生

ミニバイク

三種競技大会

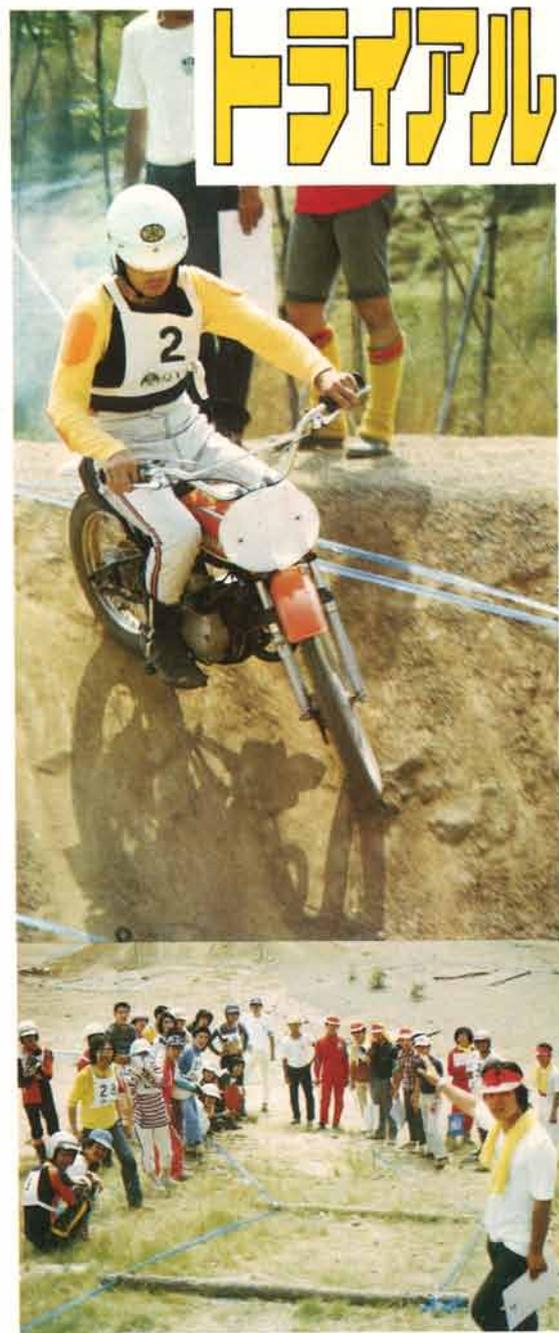
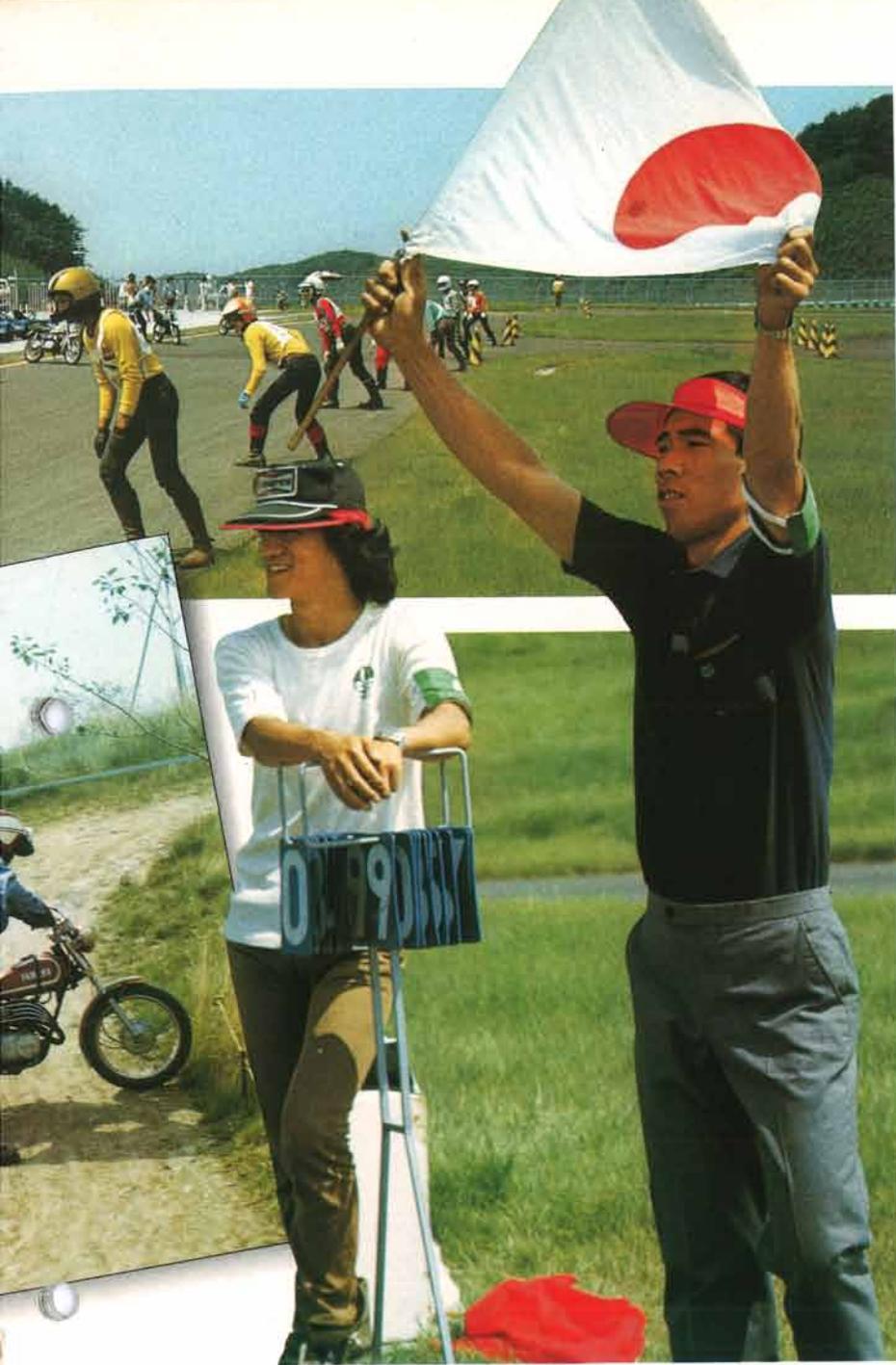
★  
一台のミニバイクで、ロードレース、モトクロス、トライアルと、三種のモーターサイクルスポーツで腕を競う、珍しい「ミニバイク三種競技」が、七月二十七日(日)スポートランド菅生で開催されました。

この催しは、新しいモータースポーツの開発を旨とし、スポートランド菅生のこころみのひとつです。

東北各県から参加した選手達の中には、日ごろバイクを愛用しているも、モーターサイクルによる競技に参加するのは、まったくはじめてという人も目立ち、一人でも多くの人にバイクによるスポーツレジャーを楽しんでもらいたいとするスポートランド菅生の意図が成功したようです。

★  
人気絶頂のGT50、GT80で出場するヤングもあれば、クラシッくなビジネス車で力走する三十代のモータースポーツ愛好者もあり、服装も思い思い。しかし、すべての選手に共通していたのは、新しいモータースポーツに参加したことによって、新鮮で、しかも大きな喜びを発見したことのようにした。

★  
クラブの仲間たちの応援に駆けつけた山形市のヤマハフレンド店さんは「スポートランド菅生のように、ミニロードレースができるカートコースや、ミニトライアルコース、あるいはモトクロスコースはなくとも、このアイデアをアレンジして、地元でできるミニバイク競技会を開くつもりだ」と語っていました。

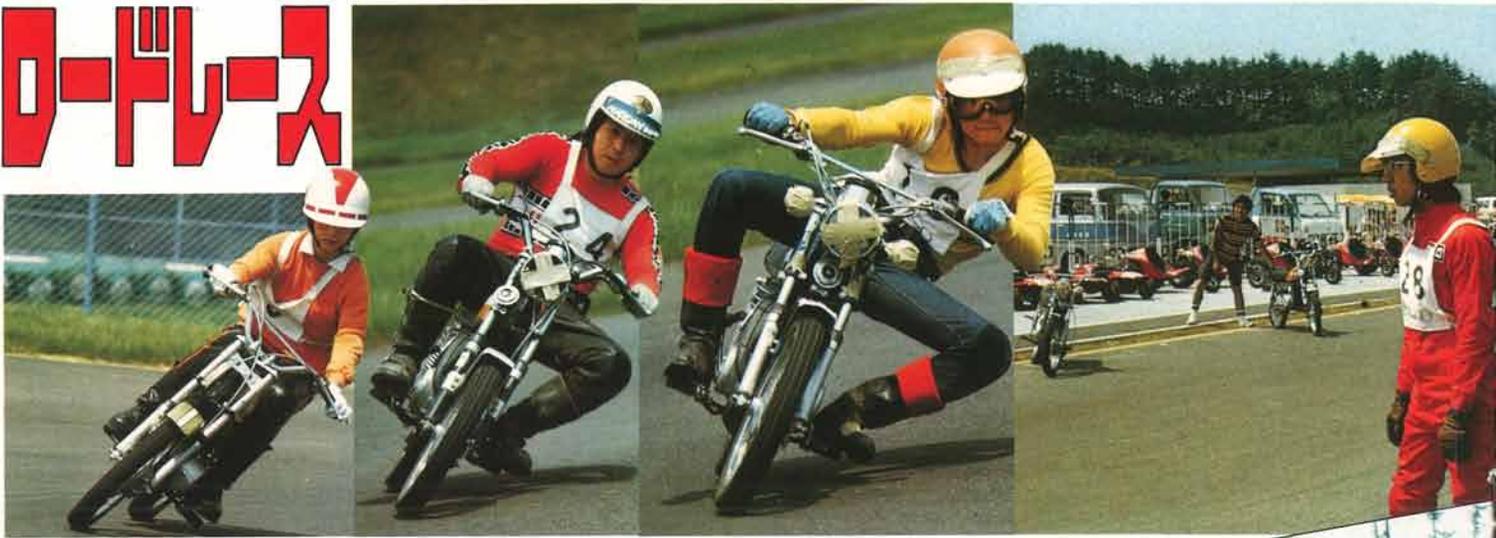


トライアル



タフネス

# ロードレース



▼この足もとにご注目。モトクロスブーツからキャラバンシューズ、運動靴にガムテーム巻きと、思い思いの足まわりが参加選手の層の広さを物語ります。



もつぱら田畑へ通う足としてのミニで、生れて初めて競技としてのモータースポーツに参加した地元・柴田町の太村勇一さん。「なんでもやってみなきゃ、の精神で出場したけれど、見ているのと走るのでは大っきなちがいが、本当にきびしい。ロードレースでは走っているうちにパドックに着いてしまっし、モトクロスではソツとする下り坂を、女性ライダーにつられておてみたし、トライアルではどうしても足が出てしまったり、成績はさんざんだったが、でも、楽しかった。やれば出来るということと、ちっちゃなバイクに大きな可能性があると、やはり挑戦する心をもつことが大切で、ここに若さがあり、参加することの意義をみた」

楽しさが話題を呼ぶ新しいスポーツレジャー「三種競技」の普及でミニバイクのお客さまを倍増



# 好評のミニチャピイにニューカラーを追加しました

車体は小さくとも、大きく楽しめるオールランドプレーヤーとして最近とみに人気を増している実力の「ヤマハミニGT50」のニューカラーはコンペティションイエロー。ひときわ鮮やかな新色で、商品的な魅力を一段とひき立てています。



ヤマハミニGT50  
コンペティションイエロー



ヤマハチャピイLB50-II・A  
マンダリンオレンジ



ヤマハチャピイLB80-II・A  
チャピイレッド

暮しの中のバイクとして人々の生活に定着した「ヤマハチャピイ50/80」の新色は、50ccのLB50-II・A(上)にマンダリンオレンジを追加、80ccのLB80-II・A(下)にはチャピイレッドを復活させました。50ccのチャピイレッド車ではシートにカラフルなチェックパターンをとり入れてますが、二人乗りとなるこの80cc車では、ご覧のように一般的な黒のシートとしてあります。いずれもオートマチック車ですので、レッグシールドは標準装備です。

# 世界選手権スプリント

J・セコット、G・アゴスチーニほかのライダーの活躍で、ヤマハはロードレース350cc級の優勝を独占してきましたが、第7戦のダッチTTでこのクラス3年連続メーカー選手権獲得が決定、さらに500cc級のタイトルも第9戦のスウェーデンGPでヤマハが握りました。このクラスは2年連続制覇です。

一方、個人タイトル争いもいよいよ大詰め、350cc級はセコットに九分九厘確定、500cc級は、アゴスチーニが1点の差でリード(MV)に先行しています。

## ロードレース

ヨーロッパくわしの高コースとして名高いフランコルシャンで行われたベルギーGP(7月6日)250cc級で、セコットがワ

イクスハーレーのW・ピラ、M・ルージュエリと三つ巴の激戦を展開、ハーレーのチームワークをもとめせずに優勝。  
 500cc級レース、注目のアゴは、ウオーターポンプのシール破損でリタイア、MVのリードが首位になりました。



⑤J・セコットは④M・ルージュエリ、②W・ピラとの接戦に最終周の最終コーナーで打ち勝った。写真は第一コーナーでのせり合い

## モトクロス

また125cc級は、P・ビレリ、P・ピアンキ(共にモルビデッリ)が1-2位を独占。ヤマハのK・アンダーソンは3位。  
 アンデルストルブのスウェーデンGP(7月20日)、アゴの滑り出しは好調で、500ccタイトル獲得をほぼ確定するかと思われましたが、あと二周を残して前輪タイヤのパンクでリタイア。首位はスズキのB・シーン、2位はMVのリードでしたが、3位にブライベントエントリのヤマハに乗ったJ・ウイリアムズが入賞、このポイントも貴重で、ヤマハの500cc級2連覇が決定しました。  
 250cc級はチャンピオンW・ピラ(ハーレー)、125cc級はこれもチャンピオンのP・ビレリ(モルビデッリ)がそれぞれ優勝しました。

第10戦のフィンランドGP(7月20-27日)アゴスチーニが久しぶりで快心のレースを展開、2位のT・ランシポリ(スズキ)に大差で優勝、ライバルのリードはエンジントラブルでリタイアしました。  
 この結果、アゴ、リードは1点の差で最終戦のチエコGP(8月24日)に臨みますが、優勝または2位に入賞しない限り、ポイントに変動のないリードに対して、入賞すればそのまま加点できるアゴが絶対有利な立場にあります。

## トライアル

7月27日のオランダGP(第10戦)終了現在、ヤマハのベテランA・ヨソンはランキング4位です。

500cc級のタイトルはすでにスズキのR・デコスターが獲得しましたが、H・ミッコラ(ハスク)とG・ウォルシンク(スズキ)の2位争いが続いています。  
 7月27日のオランダGP(第10戦)終了現在、ヤマハのベテランA・ヨソンはランキング4位です。

7月13日カナダ、7月20日アメリカとスケジュールを消化、現チャンピオンM・ラスメル(モンテサ)が依然首位を保っています。  
 ヤマハのM・アンドリュウスは5位で、残る5ラウンドでのタフな追い込みを期待したいところです。

## 杉尾、瀬尾で1・2、1・2 いよいよ真価発揮の水冷YZM

### ●全日本モトクロス選手権第8戦四国大会

75全日本モトクロス選手権シリーズは、北海道から一挙に南下して南国高知は佐川猿丸サーキットを舞台に、7月26、27の両日に行われ第8戦四国大会が開催された。ここでヤマハ車勢は杉尾良文のダブルウィンを始めとして10クラス中8クラスを制覇する大勝利をおさめた。特にセニアでは、125cc級で水

冷YZMの杉尾と瀬尾勝彦がワン・ツーをと  
 り、技術のヤマハを、また250cc級でも杉尾、瀬尾、石井正美が3位まで独占という見事な勝ちっぷりで満場を沸かせたのである。会場は高知市から車で30分程の所にある新設のサーキット場。一周約17kmのコースは、山の森の中を切り開いて作られたもので、小回りでもアップダウンが多く、見通しの悪いテクニカルコースだ。しかも真夏の太陽が容



初めて水冷YZMに乗る杉尾⑤はこの直後秀明①を抜いてそのまま独走。秀明は惜しくもチェーンがはずれてリタイヤ

敵なく照りつける路面は乾ききり、そこら舞い上がる砂ぼこりは後続のライダーにとつて極めて不利な条件となった。それだけに各レースともスタートからの先陣争いは熾烈をきわめた。特にほぼ直角に右に曲がっている第一コーナーはイン側には壁が立ちふさがり、アウトは崖になっているという視界の悪さも手伝ってまさにスリル溢れる場面を展開した。こうした状態が最も如実に現れたのはセニア250cc級であった。あまりにきれいなスタートを切った各ライダーは横一線のまま第一コーナーまで来たが、ここで一番イン側にいた竹沢正治(カワサキ)は壁と隣のマシンにはさまれて転倒、これに数台のマシンが巻き込まれてクラッシュしてしまったのだ。このアクシデントを巧みにかわして飛び出したのは川崎利広(カワサキ)、大関昌典(スズキ)、杉尾良文といった面々。これを石井正美、鈴木秀明らが追う形となった。

いよいよ東北の地にも全日本ロードレースがやって来た。75全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦は、諸施設の完備した菅生のロードコース(全長2645m)を舞台に、7月19、20日の両日に98台が参加、快晴、無風の好コンディションのもとに文字通り白熱したレースを展開した。おりしも19日は、菅生サマーカーニバルのオープニングデー。またキャンプ場もこの日から開かれたこともあり、地元を中心とした3千人の観衆が詰めかけ、モータースポーツの持つ醍醐味に酔いしれていた。注目のEJ、セニア750cc級決勝はFL750にTZ750で出場の高井幾次郎を含め19台が参加して30周で争われた。ポールポジションは前日の公式予選で一分7秒2をマークした高井、続いてEJの石井康男、セニアの浅見貞男、大協俊夫が最前列に並ぶ。今

こうしたテクニカルコースには絶対の自信を持つ杉尾は、大関を3周目でとらえ、5周目で早くもトップに立ったのである。以後は文句なしの杉尾の独走が続いた。瀬尾は序盤で一時的に下がったがその後じりじりと追い上げていき、最後の5、6周は、この間に2位が上がっていた石井との間で激しい2位争いを演じた。結局あと2周の所で瀬尾がせり勝ち、石井は3位に甘んじた。セニア250cc級は鈴木秀明のリードで始まったが、水冷YZMに初めて乗る杉尾は3周目で早くも秀明をかわしてトップに出た。秀明は10周目まで2位をキープしていたが、ここでチェーンがはずれるという不運に見舞われリタイヤ。代って杉尾を追う形となったのは前回の北海道で水冷YZMの威力を十分に発揮させて優勝した瀬尾だ。瀬尾は後半よ

## 菅生で初の全日本ロード 高井・TZ750の速さ光る

### ●全日本ロードレース選手権第6戦菅生大会



菅生での初の全日本ロード。多くの観衆の見守る中、ビッグマシンTZ750を巧みに操ってS字のヘアピンをぬける勝者、高井。

く追いついたが、杉尾の自信にあふれた落ち着いたライディングにいま一歩およばなかった。それにしてもこの夏場での水冷マシンの活躍は、ヤマハの技術力を十分に証明して見せたものであった。EJでもヤマハ車勢は、東福寺が実力を発揮できずに終わったものの、かわって吉原朋正、手島寅夫がそれぞれ250cc級と125cc級をものにし、このクラスにおける層の厚さを見せた。ジュニアでは、250cc級と125cc級をこのところ絶好調の青山金助(スズキ)にしてやられたが、90cc級では斎藤清一が今季2勝目を上げた。斎藤は250cc級と125cc級でもそれぞれ3位と5位に入るなど実力を徐々に発揮してきており、今後の活躍が期待されている。

は2列目の真中からのスタート。片山がこのレース不出場だけに、毛利としては手がたくポイントをかぎたいところだ。その毛利は1、2周目トップに立ったが3周目で浅見に抜かれた。しかしその浅見もTZ750の高井にたちまちトップを奪われる。さすがゼッケン1番の高井とTZ750は速い。スタートミスで最後尾からのスタートとなったが、巧みなコーナーワークでビッグマシンを操り、早くも6周目でトップにおどり出たのだ。あとはまったくの高井の独走、2位に38秒もの差をつけ、また5位以下を全てラップするという快走ぶりだった。総合2位は浅見、以下石井、毛利の順にチェッカーを受けた。この結果毛利はセニアでは2位となり12ポイントマークし、ポイントランキングで片山に7点差をつけてトップに立った。このほか注目されたのはジュニア350cc級での大島孝治と加藤剛のTZ350同志の好レースだ。20周で争われたこのレース、加藤が15周目第一コーナーでおしくも転倒リタイヤするまでの両者の抜きつ抜かれつのシーソーゲームは見応えのあるものだった。大島はこれに勝ってランキングトップの座をさらに確保したのである。その他ヤマハ勢ではノビス250cc級を長谷川利之が、EJ750cc級は石井康男、セニア125cc級は江崎正がそれぞれ菅生での初優勝を飾った。

# 新しいPR用品をご利用ください

- カートキャップ
- カートTシャツ



## カートキャップ

品番 012803

しゃれた赤系のジーンズも小粋なバイザーです。ツパのところにLike a Formula-1とYAMAHA RED ARROWの文字入り。Tシャツとペアで着用すればなお効果的です。

## カートTシャツ

品番 012804

Like a Formula-1とYAMAHA RED ARROWを記したTシャツは、やはり赤系でコットン100%。フリーサイズとなっていますのでなたにもスマートに着用できます。



## 部品部から 用品新発売の お知らせ

## トライアルスーツ

小売り価格 上下 18,000円  
上衣 10,500円  
ズボン 8,000円

上質の皮のようなしなやかさをもつ化学繊維エステルにアクリルコーティングし、さらに撥水加工を施したトライアルスーツで、上下別々でもご注文に致します。

品番 90890-59430 上下 M  
90890-59433 " L  
90890-59431 上衣 M  
90890-59434 " L  
90890-59432 ズボン M  
90890-59435 " L



■カートウィンドーステッカー

## カートウィンドーステッカー 品番 012801

お店の目立つところにお貼りください。カーステッカーとしてもご利用いただけます。

## カートノベルティステッカー 品番 012802

一段と人気を増してきているカート。お客さまへのノベルティとして用意しました。



## モトバイクシャツ

品番 012701 黄S 012703 緑S  
012702 黄M 012704 緑M

頑張る僕は大きく見えるのイラストマンガをプリントしたTシャツで、黄色と緑色の2色で、それぞれSと特別ゆったりしたMサイズとがあります。



## ボールペンA

品番 012103

チェッカー模様がスポーティなボールペンです。お気軽にご利用いただけるノベルティ用品としておすすめします。

「カートおよびモトバイクのPR用品が出来あがりしました。一般のお客さまに差上げて喜ばれるボールペンと共にみなさまの有効なご利用をお待ちしております。ご注文は担当のヤマハマンにお申付けください。」



がっていく。安定したその走りっぷりのよさに、インストラクターをはじめ順番を待つ男の受講者も思わず舌をまいたほど。いいかえれば、それだけにカートのすぐれた安定性をみせつけた場面でもあった。

こうしてSLカートライセンスを取得した笹川紀代美さんは、東京、福生市の「エトー・カート・サブライ」の経営者で、ベテランカーターの呼び声高い江藤社長について、もっかレーシングテクニックの特訓中だ。というのも、ここにはクラブ員40名を越える「チーム・エトー」というカートクラブがあり、紀代美さんの二人のお兄さんと弟さんの三人

がクラブ員として活躍しているからだ。

「練習はもっぱら立川市の武蔵野サーキットでやっているの。家の仕事（新聞販売店）の手伝いが忙しく、思うように練習の時間がとれないのが残念だけど、走るたびにタイムはあがってきているのよ。江藤社長はまだまだっていうけど、あと4～5回もみっちりコーチをうければレースにも出られそう」

流れる汗をタオルで拭いながら、つぶらな黒い瞳をかがやかせて語る紀代美さん。

その可愛い姿をSLカートレースに見かけるのもそんなに先のことではなさそうである。乞う、ご声援。



る！ 赤い矢に乗って

# S Lカート教室から育つ 明日のベストカーター、17才の笹川紀代美さん

「生れてはじめてハンドルをにぎったの。とってもうまく走れたの。大地がどんどん迫ってきて、ハンドルきって、何回も何回も雨の中をまわったの。スピード感あったわア」

これは、埼玉県・所沢サーキットで行われた恒例のS Lカート教室に紅一点参加した笹川紀代美さん（17）の実感あふれた言葉。

午前中の座学を終った時点で、とつじょふりだしてきた雨は、いっこうに止む気配をみせずおひるを過ぎた。午後は実技講習の時間だ。しかし雨は止まず、カッパを着用しての実技講習である。本当は主催者側は初心者のことでもあり、中止の意向がつかったのであるが、「カートとはどんなものなのか、そ

れを知るだけでよいから……」の受講者のつよい熱意におされてのスタートである。

そして、最初のランナーとして第一コーナーをめざしてアクセルを踏んだカーターが笹川紀代美さんだったのだ。インストラクターの指示のもと、最初は丁寧にレッドアローをながしていたが、やがて次第にスピードがあ



マン・ツー・マンの特訓。右はもちろんコーチ役の江藤社長



コーナーはアウト・イン・アウトで……。特訓中の紀代美カーター



## 紀代美は走

# ヤマハ 奥は

## もつと もつと多くの人にチャピィを

藤本 愛子さん(藤本商会・藤本信郎氏夫人)

今月の「わが内助の功」は南国は土佐の高知におじゃましました。高知駅から車で約15分、交通量の多い国道32号線に面している藤本商会さんは、大型できれいなレイアウトがなされたお店です。きちんと片づけられたお店からは、ご主人の商売熱心さと奥さまの細かい心づかいがお会いする前からうかがえました。

奥さまは、お嬢さんと一緒に通っている水泳教室からお帰りになつたばかりとのこと。まだ乾ききっていない髪を気にしながらカメフラに向かわれ、お話しをしてくれました。

「私はついこの間までは今のように活発に外へ出ていくなんてことはなかったんですよ。お店の仕事でもよほどのことがない限り外へ出ることはしないで主人達にまかせきりで、うちのこの事務室で帳簿関係なんかのお仕事ばかりしてたんです。私生活の面でもとても

出不精で家の中で編物とか片づけ物とかばかりで、正直言いまして今から考えるとあまり張り合いのある生活ではありませんでした。それが今では積極的にお店にも出られてお客さまの対応も進んでなさり、外回りのお仕事にもどんどん出かけられる。またこの夏からはスイミングクラブへも通われるようになったという。そのようにこの奥さまを変えてしまったのは何だったのだろう。

「それがこのチャピィなんです」と毎日ご自分で乗られているチャピィをいとおしそつになでられる仕草にはとても実感がこもっています。

「ヤマハでこの春に、「春のヤマハまつり」というキャンペーンをしたでしょ。うちでもそれに合わせて、近くのカソリンスタンドを借りて展示即売会をやったんです。そのとき私も実際にチャピィに乗ってみました。車



お客さまへ納車の前にチャピィを入念にチェックするのも慣れた手つき



の免許はもう10年位前に取ってしまいましたので、オートバイにも乗れる資格はあったんですけど実際に乗ったことはほとんどなかったんです。それがどうでしょう、ほんとにうらうらく乗れたんです、そんな私にも。それにスタイ、ルもつつてもステキだし。もう、いつべんでチャビィのとりこになってしまったの。それからだわ、私の生活までが変ってしまったのは。ほんとに大ききではなく、運命的な出会いって感じしてるんです」。



チャビィとの“運命的な出会い”を作るきっかけになった今年4月の展示会



「この鈴、オルゴールになっているんですよ。細かい心くばりはやはり奥さまならではの」

それからというものが、奥さまは自分が惚れこんだチャビィに出来るだけ多くの人に乘ってもらおうよう、お店の仕事にも積極的な意欲が沸いて来たという。  
「他のバイクは僕の方で面倒見てるんですが、チャビィだけは愛子にすつかりまかせて

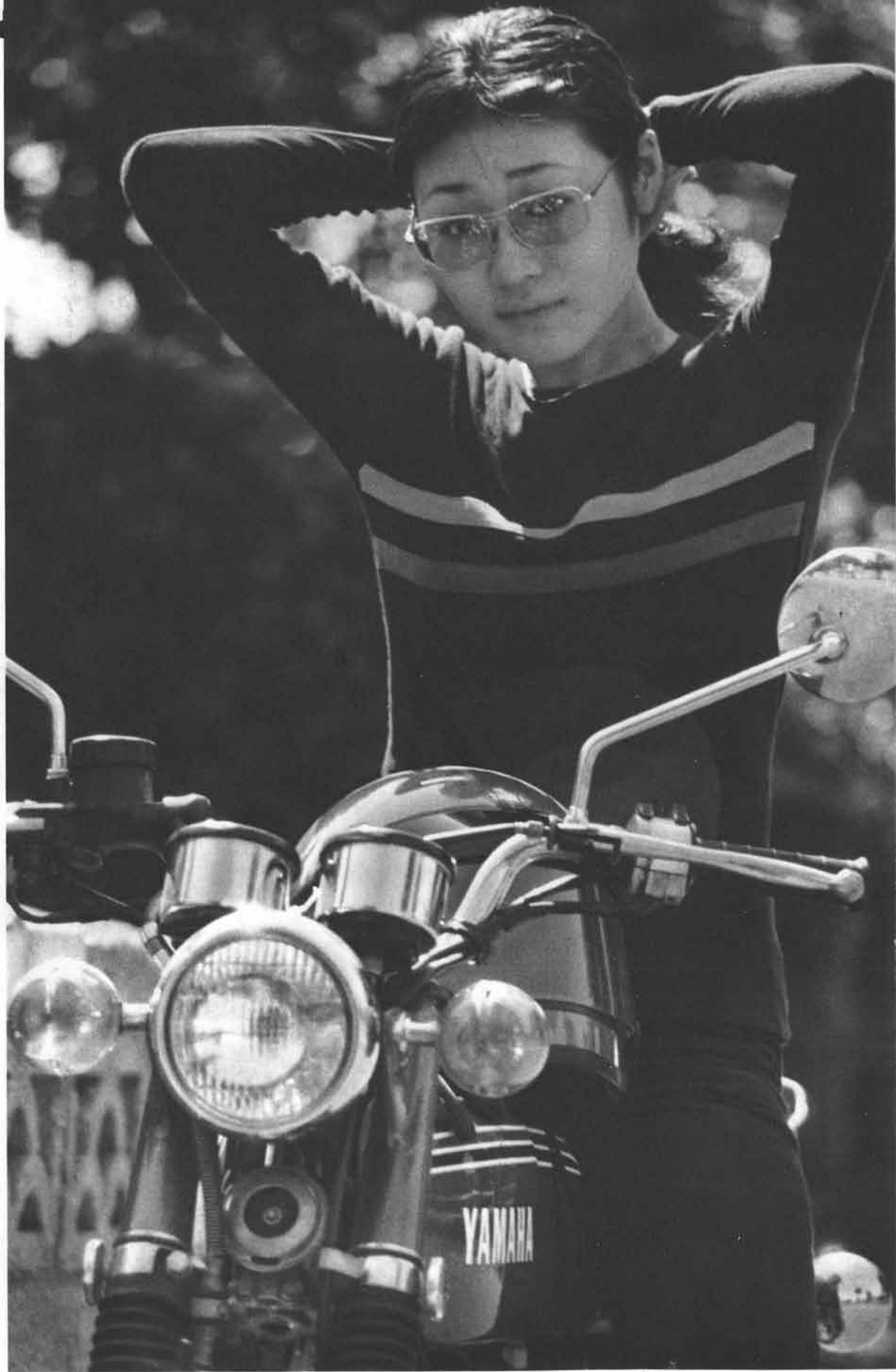
いるんですよ。とにかく最近は何にチャビィだけで10数台売っちゃうんですからね。こつちももうかうか出来んですよ。とにかくチャビィはこれからもどんどん伸びますね」。ご主人もうれしそうに語ってくれました。  
(高知市<sup>あまの</sup>野一五二二)

男の人っておかしいですね。  
みんなのバイクを  
男のものときめて  
いるんだから。



鈴木 和子さん(19才)  
東京都台東区谷中4-1-16

夏つつよい日射しが照りつける七月二十七日、東京・鯉州の警視庁鯉州運転試験場で今年度のセフティライダー日本一をぎめる「二輪車安全運転全国大会」の出場権をかけた東京大会が行われた。そして、この大会にナンバ1のセツケンをつけ、文字どおり一番目に実技のテストに挑戦した女性ライダーがみられた。鈴木和子さん、19才の大学生である。  
この東京大会には三人の女性ライダーが出場したが、鈴木和子さんは総合五位、女性ライダーとしては最高の成績をあげ、みごと全国大会の東京代表に選ばれたものだ。愛車はRD50。フルフェイスのヘルメット、ブーツ姿もきまつているセフティライダーである。さつそく鈴木和子さんにインタビューを申込み、楽しいバイクの世界についてあれこれ語ってもらった。



「友達にタンテムさせてもらってバイクに乗っているうちに、バイクの世界の素晴らしさを自分のものにしたくなったの。それでその友達にバイクのお店（半田モーターズノ東京・中野）を紹介してもらい、すぐに原付免許をとったんです。」

それが去年の10月、そして今年の4月には

自動二輪免許もパスしました。それで今はRD50に乗っているんですが、これはバイクのライティングの基本をマスターするためのものです。そろそろ次のバイクに乗りたいたいと思っているんです。TY125は魅力ある車ですね。小ちゃな顔によく似合うメカネの奥で黒い瞳がキラキラ輝いている。バイクを語るのが

楽しくてしょうがないといった感じ。彼女のスーパースターぶりは聞いていくほどに、ますます驚かされる。今年の始めには、MFJのトライアルのオブザーバーの資格をとり、今また夏休みを利用して、四輪の免許をネラっているとか。まさに国際婦人年にふさわしい活発な、そして現代的な女性ではある。

「今の男の人っておかしいですね、女性がバイクに乗っているのをみると、女のくせによくやるなあという目でみるんですよね、別にバイクは男だけのものじゃないのよね。だからエベレストに女の人が登つたのには私も心から快哉を叫んだわ、女にだっていろいろなことにトライする権利はあるんですもの。」

私は私なりに、バイク・ライフを征服するつもりなの、今は50ccでしょ、でもこれから125cc、500cc、750ccと順々に大きなバイクのりかえてゆくプランは出来ているんです。一生バイクは離したくないですね、もちろん、ボーイフレンドもバイク仲間から、結婚して男の子供が出来たらみっちりバイクをしこんでやるつもりです。」

家庭では大事な一人娘として育てられてきた和子さん。こんなに自信をもってバイクを



一番、鈴木和子さん……のアナウンスで実技部門のスタートへ愛車と歩む

語ることが出来るのは、この親の深い理解があるからだろう。個人タクシーを経営しているお父さんの暖かい応援も、彼女に大きなプラスとなっているようだ。

「原付免許をとった時なんか、あれはただでくれるようなものだから……といわれちゃ

いました。そして自動二輪の免許の時には、教習所でちゃんと習ってとるんだから心配ないよって、お母さんを説得してくれました。私もそういうお父さんの期待に応えられるよう、情熱をもってバイクに接しています。」

暑い毎日が続くなかで、普通免許の教習所に通うのもRD50、コーヒーを飲みたくなつてお気に入りの喫茶店へ顔を出すのもRD50。ときには銀座、新宿など盛り場でのシヨッピングにと、バイクをすっかり自分の足として活用している。

中学生のときには、四〇〇メートルリレーの選手として、NHKの放送陸上の予選にも出場したというスポーツマンの鈴木和子さん。愛車をTY125に乗換えて、全日本のトライアル競技会に顔をみせるのもあながい間近なことであるかもしれない。

## 二輪免許試験が二本立てに

# 大型(401cc以上)は750ccで試験

## 早ければ十月から実施へ

警察庁では、かねてより二輪免許制度の改正を検討していましたが、このほど、その基本方針を決め、十月一日からの実施をめぐり、改正のための作業を進めています。

改正のねらいは、とくに大排気量二輪車の免許取得をむずかしくし、大排気量車による交通事故の防止と、暴走行為対策を図ろうとするもので、内容はつぎのようなものです。

①現在「限定二輪(五〇ccを越え一二五cc以下)」と「大型二輪(一二五ccを越えるもの)」

の二本立てとなつている二輪免許を「小排気量二輪(五〇ccを越え一二五cc以下)」「中排気量二輪(一二五ccを越え四〇〇cc以下)」「大排気量二輪(四〇〇ccを越えるもの)」の三本立てに変わる。

②試験車両をそれぞれ一二五cc(一〇〇cc〜一二五cc)三五〇cc(三〇〇cc〜四〇〇cc)七五〇ccとする。

③中排気量二輪(三〇〇cc〜四〇〇cc)の指定自動車教習所における最低教習時間(実

技)を現在の五時限から八時限にふやす(一時限は五〇分間)

④大排気量二輪(四〇〇ccを越えるもの)は、指定自動車教習所での実技試験免除の対象にしない。

⑤大排気量二輪の免許を取得するためには各都道府県の運転免許試験場で受験しなければならぬ。

⑥大排気量二輪の実技試験は七五〇ccの試験車両で行なうが、体格や取りまわしなどを

審査する予備試験と、かなり厳しい本試験の二つの関門があり、高度な運転技術と経験、マナーを積んだ人だけが合格するよう、内容を検討している。

☆ ☆ ☆  
道路交通法施行規則などの改正によって、新しい免許制度が実施されれば、業界にも大きな影響があることが予想されます。

二輪車による交通事故を減らすためには、まず排気量の少ない車で十分に経験を積んでから、次第に排気量の大きい車に乗り替えるよう、フレンド店の皆様も、お客さまをご指導していくことが必要です。

同時に、排気量の少ない車でも十分楽しめるスポーツツレジャーの普及などを図っていくことが、二輪車需要を健全に伸ばす道でもあります。

なお、現在、限定なしの二輪免許を持つている人は、改正後も引きつづき、大排気量車を運転することができま



山と積まれた応募ハガキから当選者への抽せん

# あつまった13万通のご応募

## モトバイク・クイズの当選者発表

「少年マガジン」「少年ジャンプ」「少年サンデー」の週刊マンガ雑誌の誌上で広告掲載してまいりました「モトバイク・クイズ」は締切日の昭和五十年七月二十五日(当日消印可)までに十三万六一八四通の応募があり、このうち正解者は十三万五一六三通を数えました。正解者多数により、静岡県磐田警察署中村警務課長立会いのもとに厳正な抽せんを行なった結果、左記のように当選者が決定しました。当選者のみなさまにはさっそく賞品をお送り申し上げます。

〈問題〉凸凹道もなんのその。もの言う前後のクツシヨン。

〈正解〉ヤ○ハモ○○○ク。ヤ○ハモ○○○ク。

特賞 モトバイク 五名

加藤 孝男様

神奈川県足柄上郡中井町井口七六四

加藤 正宏様

東京都八王子市八幡町九一十五

横井 優尚様

岐阜県土岐郡笠原町二九三五一一二

山口 武志様

愛知県刈谷市大正町七一四三

山口 正巳様

愛知県岡崎市矢作町高縄平一一二五

A賞 モトバイクTシャツ五〇〇名

黒沢 一裕様(北海道旭川市新富町四区)ほか四九九名様

日賞 モトバイクステッカー

五〇〇〇名

松島 英樹様(富山県上新川郡大山町小見)ほか四九九九名様

# TOPICS

この欄はみなさまの情報交換のページでもあります。どしどしご利用ください。投稿大歓迎。

## 安全を推進する二輪車専門校

### テクノカルセンター磐田の活躍

「ヤマハ本社」二輪車専門の総合的な教育・指導の場を提供することを目的に昭和48年4月にオープンした「テクノカルセンター磐田」は、同年12月には公安委員会の指定をとり、全国で唯一の公認・二輪車専門教習所の資格を得ました。

①正しい乗り方と運転技術を訓練し、二輪車安全運転の推進をはかる

②二輪車のすぐれた走行練習施設を提供し、原付および自動二輪免許の取得希望者に対する教育訓練を行う

③安全でかつ楽しいモータースポーツの推進をはかる

——これを目的として学校単位の講習会、



▲50年1月から4月までの自動二輪免許取得者は405名。平均年齢は16.7才。卒業までに平均9-10時間の教習をうけている

▲ベテランの技能指導員のもと、正しい運転技術を学ぶ教習生



指定教習所の二輪担当指導員の講習会、高校教諭講習会、原付乗り方教室など各種の安全教室活動を実施してきており、その受講者は三〇〇〇名を超えています。

また自動二輪免許取得卒業生は昭和49年1月いらい二五〇名を超えています。

とくに目立つのは、静岡県警の自動二輪免許取得者追跡調査のデータで、49年度の静岡県全自動二輪免許新規取得者三六四七名が同年度中までにおこなった事故件数二六六件(死者3、負傷者川名)中、「テクノカルセンター磐田」卒業生七八四名の事故率がゼロであったことで、これは二輪専門教習の「テクノカルセンター磐田」の教習レベルの高さを物語るものと自負しております。

なお、今後の「テクノカルセンター磐田」の方向性としては――

①交通安全教育のための高校教諭対象講習会の充実

②普通科高校対象の講習会の実施

③二輪担当指導員レベルアップのための講習会を全国教習所対象に拡充

④レベルの高い二輪車免許取得促進

を中心に、正しいモーターサイクルの扱い方とモーターサイクルマナー確立のため一層まい進してまいります。

## 新しい仲間が誕生

### ヤマハ安全運転指導員の店

〔九州支店〕安全運転社会の達成を旨として各地で安全普及活動がくりひろげられていますが、福岡地区ではこのほど南福岡自動車学校と協力のもと、県下26店のフレンド店さんを集めて、「ヤマハ安全運転指導員養成講座」を開き、新しいインストラクターの誕生とヤマハ安全運転指導員の店を拡充していきます。講習内容は第一日目が座学中心で法令テストや安全運転研究の発表など。二日目は南福岡自動車学校のコースに出て、法規履行走行から一本橋、スラローム、ブレーキングなど実技と観察評価。このときには南福岡自動車学校の教官も出席し、受講者一人ひとりにアドバイスを与えるなど、密度の高い講習内容を展開

サンフランシスコ、沖縄間6千500マイルを単独操艇  
**ウイング オブ ヤマハ**  
**沖縄海洋博記念レースに出場**



このレースはサンフランシスコ、沖縄間6千500マイルの太平洋を舞台にしての単独操艇（シングルハンド）レースで、この九月二十一日にサンフランシスコをスタートします。操艇は過去に太平洋を三度も横断、9万5000マイルという帆走実績をもつベテランの戸塚宏氏（愛知県出身・35才）で、ほかに太平洋のとりほちちで有名な堀江謙一氏など内外あわせて有名なヨットマンが参加することになっていきます。

「ウイング・オブ・ヤマハ」の活躍に二声援ください。

しました。  
 二日間とも相にく天候に恵まれず、二日目の午後の実技は雨となりましたが、安全運転の



安全運転の普及に熱意を燃やすフレンド店のみなさん

普及にかける受講者のみなさんの熱意は高く最後まで真剣な態度で講習をうけていたものでした。（鈴木）



あいにく雨となった実技の講習。観察評価では多くのことを学んだ

**トライアル普及し本腰**  
**「ヤマハトライアルランド琴海」オープン**

〔長崎営業所〕九州においてもトライアルは着実に根をおろしつつありますが、長崎県下というよりも九州で初めてのトライアルのトレーニング場「ヤマハトライアルランド琴海」（長崎県西彼杵郡琴海町西海郷）が七月六日オープンしました。

敷地面積はおよそ九〇〇〇平方メートル。山あり谷あり、水場もあるという地形で、オープンの日にはYTT（ヤマハトライアルチーム）の大月信和選手を特別インストラクターとして招き、長崎スネルトライアルクラブのメンバーほかトライアルファンのお客さま三十

大月信和特別インストラクターのスピーチに耳をかたむけるトライアル仲間たち



オープンのにぎわいをみせる「ヤマハトライアルランド琴海」



熱が入ったSLトライアル教室



八名が参加して、SLトライアル教室とトライアル競技のデモンストレーションを行い、好評を博しました。

また、長崎市内のフレンド店さん・岡東商会、桜井モーターズ、大勝モーターズ、池田モーターズのみなさんがオブザーバーとして協力、これから事務的なシーズンを迎えるトライアルの普及に意欲をみせてくださいました。なお、この「ヤマハトライアルランド琴海」は、長崎営業所および佐世保営業所によって管理され、近々SLシリーズ戦の展開を計画しております。（西島）

# ユルザル登場

わが友、プジョー

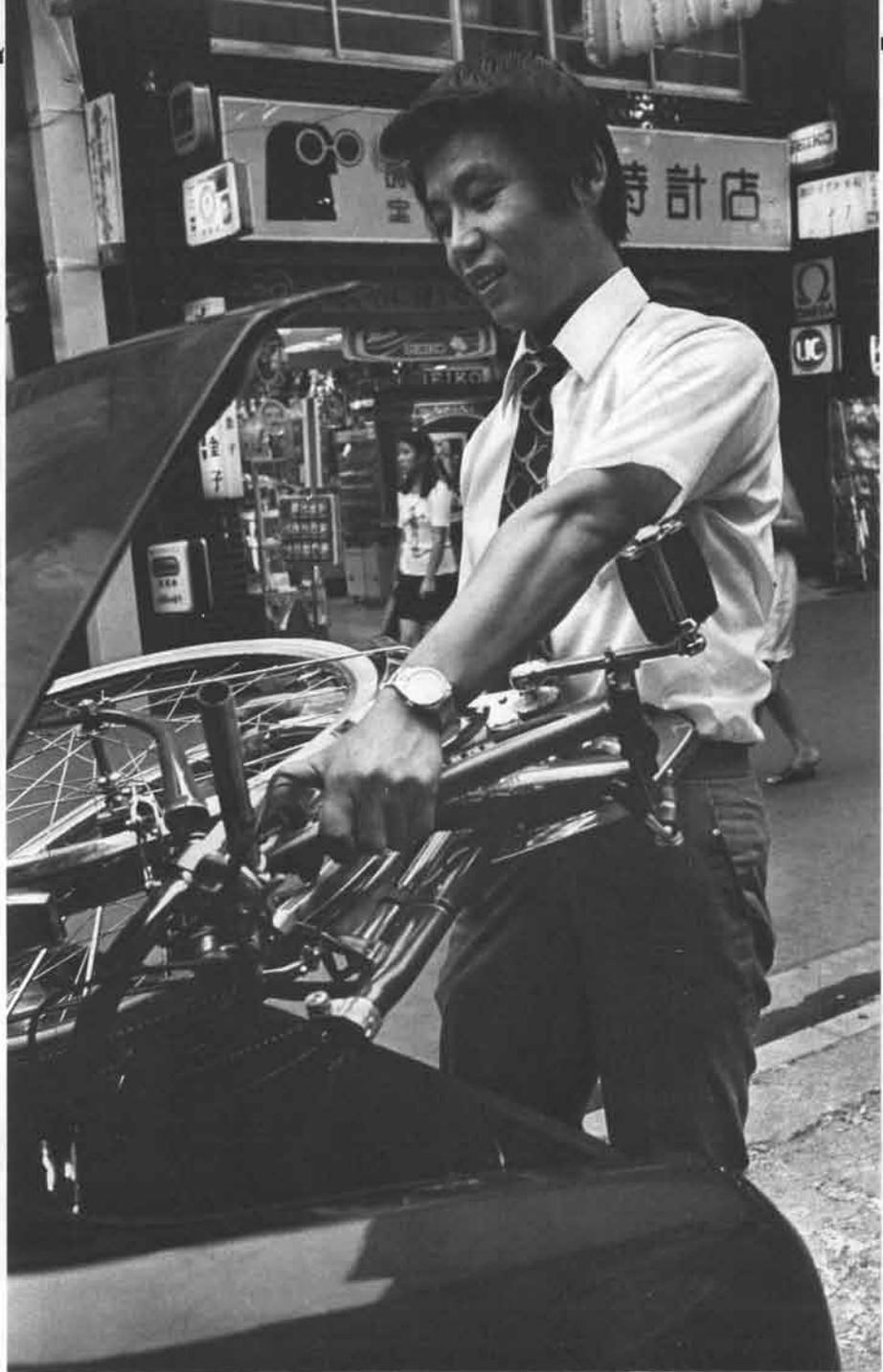
釣りマニア  
中島 邦雄さん (30)  
神奈川県横浜市鶴見区鶴見町

横浜市鶴見区にある時計・メガネ・貴金属店「金子時計店」にお勤めの中島さんの趣味は釣りである。ヘラブナ釣りからはじめ、今ではもっぱら川釣りを楽しんでおられるが、キャリア20年というベテランである。

この中島さんが最近釣りを楽しむ道具のひとつとして、プジョーミニPNS-22を購入した。釣りとPNS-22にどういった関係があるか不思議であったが、中島さんは次のように説明してくれた。

「毎週はおろか、閉店後毎晩でも出かけるほど釣りが好きで、釣ったものを生かして持ち帰り、店の水槽で飼うのが楽しみです。車で行くのですが、釣り場の近くまでは行けても、

## 車輪が大きい折りたたみ式 太公望が選んだPNS-22



ハンドルをはずすだけでトランクにスッポリ、閉店後の夜釣りの準備をする中島さん



（中島サイクル  
中島謙悦社長の話）

その先実際に釣り糸を垂らす所までは車では行けないことがほとんどで、以前からトランクに入れて持ち運べるような自転車がいいと思っていました。ところが、国産の折りたたみ車は車輪が小さいものばかりで、川辺のデコボコ道では、ショックが大きすぎ走りにくいのです。その点、PNS-22は折りたたみ車としては車輪が大きく、悪路も楽に走ることができ、満足のいくポイントを探しやすくなりました」

さらに、購入の動機について「時計修理工というわたくしの職業柄、金属とくに鋼については、いい材質のものか、そうでないかは一目で解ります。このPNS-22を、中島サイクルさんで見たととき、さすがにいい材質のものをつかっているなと思いました。ワンタッチで折りたたみ、組立てが楽なうえ、丈夫だし軽いスタイルはいいしこれだと思つたためらわず買いました。たまたま色もわたしの車の色と同じだったことも気に入った理由です。釣りの時はかりでなく、お得意さんへの配達にも使えますし、実用とレジャー用を一台で兼ね備えた自転車ですね。そろそろ結婚しようと思つていますが、嫁さんも一緒に乗れますし、いい買い物をしたと喜んでます」

開店してまだ一年たらずですが、将来は、子供車、婦人車、軽快車などの現在のお客さまの層をより広げるとともに、自転車をはんとくに好きな、いわゆるマニアの方々が集まる店を自ざしたいと思つております。この点で、世界の名車プジョーを扱うことは必須の条件といえましょう。プジョーに目を止めてくれるお客さまも多くなりました。現にスーパードX-10Eをはじめ、PX-10E、J10など一年間に5台のプジョーを買っていただいたお客さまもおります。今後、ミニシリーズを含めプジョーはかなり多く販売できる商品と期待しています。

# 気軽に乗れるヤマハチャピイ “奥さまもいかが”

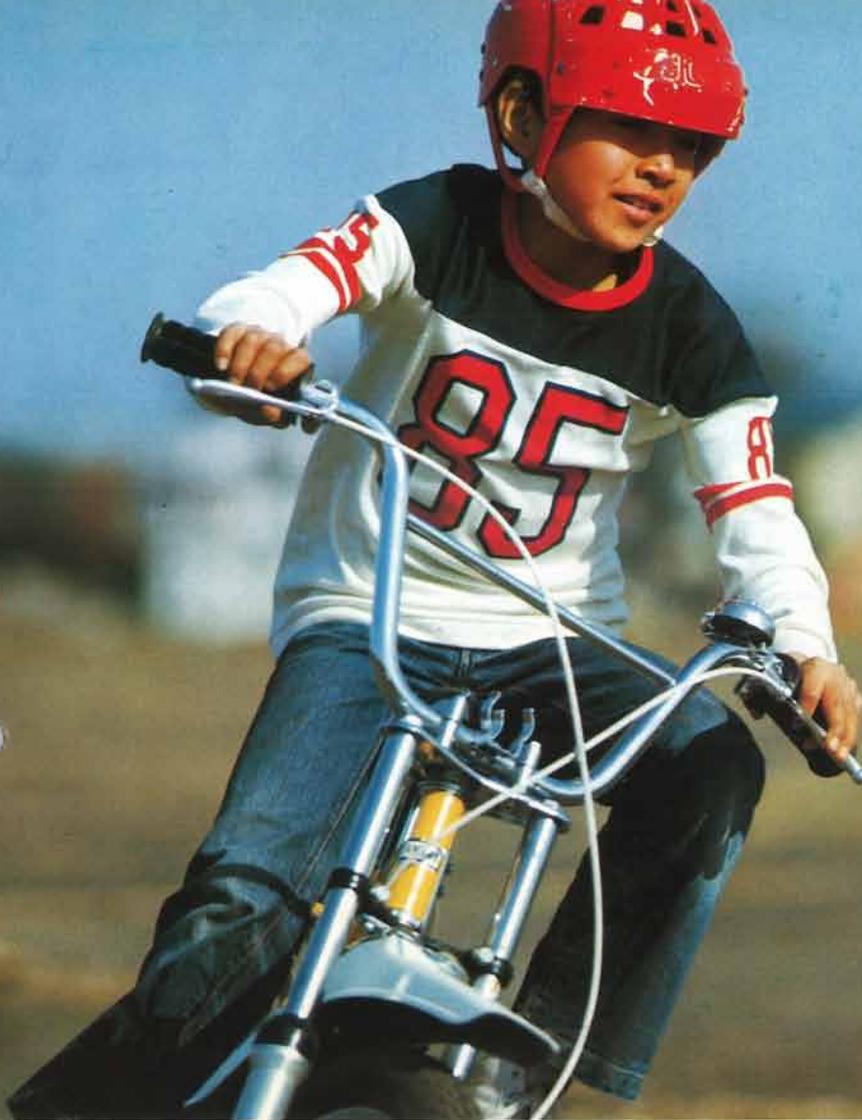
新しいテレビ・コマーシャルのフィルムをご紹介します。これは8月15日からTBS系全国23局ネット「JNNニュース・デスク」、CX系全国25局ネット「クイズグランプリ」によって放映されている30秒もので、チャピイLB50-II・Aを使ってチャピイの多用性を家庭の奥さまの例で示したものです。

ヘルメットをかぶって、チャピイを扱う動作も若々しい奥さま。その奥さまを追ってカメラはスーパーマーケット、郵便局、生花教室、テニス場へのチャピイを軽快にえがきます。そして、暮しの中にとけこんだバイクの効用性が語られます。——気軽に乗れるヤマハチャピイ、奥さまもいかが……。



# 前後のクッション。もの言う。

がんばる僕は大きく見える。



## ヤマハ・モトバイク新発売。

風のように速く走る。たまらない魅力だけど、力強い走りはさらに素晴らしい。だが、凸凹ぬかるみ ジャリ…。こんな時、君は進むのをあきらめてはいないか。  
 〈ヤマハ・モトバイク〉。躍動感が脈々と流れるフォルム。悪路もらくらく越える前後のクッションと太いブロックパターンタイヤ。これら多くの新しいメカニズムが君の秘めた情熱を呼び

覚ますだろう。その時、心に何かが芽ばえる。ヤマハ・モトバイクは、MB1とMB2の2タイプ。いま新発売。

ここが違う。ヤマハ・モトバイクのメカニズム。

- 頑丈。オートバイタイプのクレードル型フレーム。
- 悪路。段差も安全に乗り切る前後のクッション。フロント：ストローク65mmのセリアーニタイプ。リヤ：スイングアームと組み合わせたスプリング式。
- 力強く大地をキャッチ。2インチの太いブロックパターンタイヤ。
- 雨中での制動力も抜群。強力ドラムブレーキ。
- 長いササシート。高さは710mmから800mmまで5段階に調整可能。的確なライディングポジションを確保。
- ハンドルは、MB1：オフロードタイプブリッジ付き。MB2：普通无路から悪路まで、楽な姿勢で走れるアップハンドル。



(意匠登録出願中)

# YAMAHA MOTO-BIKE

ヤマハ・モトバイク

標準現金価格 ¥46,800

モトバイクの快適な乗りごちを保つ為にも、次の事を心がけよう!

- 乗る前にはかならず各部を点検し安全をたしかめよう。
- 買ったお店で、1ヵ月後の整備と、年2回の総点検をかならずうけよう。
- 無理をせず、自分に合ったスピードで走ろう。
- 交差点では一度止って左右をよくたしかめよう。